

朝採いにこだわった いちじく収穫スタート！



J A あいち尾東（日進市/代表理事組合長：市川耕一）管内のいちじくが出荷最盛期を迎えています。当 J A の生産部会『東郷いちじく分科会』は生産者7名で『柵井ドーフィン』を中心に約1 ha の面積で栽培し、丸果（株）高岡青果市場や、管内インショップ等へ出荷しています。また、食品ロス削減を目的に、市場へ出荷できない規格外のいちじくを J A あいち経済連加工用いちじくとして出荷するほか、J A あいち尾東農産物加工所にていちじくジャムやドライいちじくの加工に取り組んでいます。

品質向上の取り組み

いちじくは雨に非常に弱く、収穫期の降雨により果実が腐りや品質低下につながってしまいます。そこで、簡易的な骨組みの天井部分に透明ビニールを張ることで雨に当たるのを防ぎ、収量、秀品率の向上、凍霜害の対策を行っています。現在は、会員2名の圃場で簡易雨よけを設置した試験栽培を実施しています。



いちじくの雨よけ栽培

食品ロス削減・農家所得向上に向けた加工の取り組み

3年前から J A あいち経済連に規格外品を出荷し、ジャムやゼリーに加工してもらっており、昨年度は約500 kg を出荷しました。また、当 J A の J A あいち尾東農産物加工所にてドライいちじくやいちじくジャムをつくり、加工用いちじくとして約350 Kg を買い取り、管内のグリーンセンターに出荷しています。



いちじく分科会員による目揃え会

農副連携に取り組む『J A あいち尾東農産物加工所』

平成30年8月に管内の瀬戸市山口町に J A あいち尾東農産物加工所を開設しました。規格外品を J A で買い取り、ドライ製品の製造・加工を行い、グリーンセンターや洋菓子店等に販売しています。また農福連携として、就労継続支援 B 型事務所『NPO 法人ふうえん』に作業委託をし、検品や切り落とし、ドライいちじくの乾燥作業を行ってもらっています。



加工作業

取材は都度受け付けております

取材日：出荷期間の8月16日～10月下旬まで取材を受け付けております。

収穫のピークは、8月下旬～9月上旬です。 収穫・出荷作業の様子を取材いただけます。

場所：J A あいち尾東南部営農センター東郷事務所・生産者圃場

J A あいち尾東農産物加工所（瀬戸市山口町） 10月からいちじくの加工作業を予定

※火曜日・金曜日 10：00～15：00 に作業委託

〈問い合わせ先〉J A あいち尾東 総務企画部 総合企画課（担当：新家・加藤）

T E L：0561-56-0080 F A X：0561-72-8151 E-mail:kikaku@jaab.or.jp

